

第1回 安全設計分科会 議事録

1. 日時 平成14年3月13日(水) 13:30~15:45

2. 場所 日本電気協会 4階 C, D会議室

3. 出席者(敬称略,五十音順)

出席委員:吉川分科会長(京都大学),寺津幹事(東京電力),石黒(電源開発),今泉(核燃料サイクル開発機構),大杉(日本原子力研究所),加藤(中部電力),阪上(三菱電機),新藤(電力中央研究所),鈴木(原子力発電技術機構),中野(九州電力),永田(日立製作所),成田(秋田大学),番匠(北陸電力),村島(電気事業連合会),森田(日本原子力発電),山内(三菱重工業)
(16名)

代理出席委員:荒矢(北海道電力・阪井代理),志賀松(四国電力・榊原代理),内藤(東芝・安藤代理),中谷(東北電力・津幡代理),古川(中国電力・新宅代理),見上(富士電機・岡本代理) (6名)

欠席委員:斎藤(東京工業大学),田中(関西電力)(2名)

常時参加:安藤(東京大学名誉教授),田南(東京電力),増田(東京電力) (3名)

事務局:浅井,堀江,小宮,国則,平田(日本電気協会)

4. 配付資料

No.1-1 原子力規格委員会の活動経緯について

No.1-2 原子力規格委員会 規格策定基本方針

No.1-3 安全設計分科会 規格改廃要否の検討及び平成13年度活動実績,
平成14年度活動計画(案)について

5. 議事

(1) 定足数の確認

事務局から委員総数24名に対して本日の出席委員数は22名で、「委員総数の2/3以上の出席」という定足数を満足していることの報告があった。

(2) 原子力規格委員会活動経緯について

資料No.1-1に基づき,事務局より原子力規格委員会の発足以降の活動状況,及び委員会規約等について説明が行われた。

(3) 分科会長の選任及び幹事の指名

阪上委員より,分科会規約第4条に基づき,分科会長候補者として吉川委員の推薦があり,他に分科会長候補者の推薦がないことを確認した後,単記無記名投票を行った。その結果,投票委員総数22名に対し,吉川委員への投票数が22票で吉川委員が分科会長に選任された。

吉川分科会長より,安全設計分科会幹事として,寺津委員が指名された。また,副分科会長については,今後の分科会の活動状況により必要に応じ指名することとした。

(4) 原子力規格委員会 規格策定基本方針について

事務局より、資料 No.1-2 に基づき原子力規格委員会 規格策定基本方針の説明があり、以下の質疑が行われた。

1) 性能規定化とはどのようなものか。

(回答)事務局より、規格策定基本方針の p12「性能規定化とは」の記載事項の説明があった。

また、原子力設備についても今後性能規定化が進むと思われるので、民間規格がより重要になることが補足説明された。

2) 日本電気協会で制定している規格の国際整合性及び英訳版についてはどのように考えているのか。

(回答)事務局より、規格策定基本方針 p11 記載の「6.6 IAEA, ISO, IEC 等の国際規格策定機関との協調, 協力」「6.7 ASME, ANS, IEEE 等海外規格策定学・協会との整合性」の方針で国際整合性を図っていくこと、また、英訳版については国際性を目指す観点から必要であるが、その対応方法については基本方針策定タスクで検討中であることが説明された。

(5) 安全設計分科会における規格改廃要否の検討及び平成 13 年度活動実績、平成 14 年度活動計画の審議について

常時参加者の田南氏、増田氏及び事務局より資料 No.1-3 に基づき、題記の件について説明が行われた。議論の後、以下の方針で修正を行う等の対応を行うこととし、その結果を第 5 回原子力規格委員会に上申することについて、挙手による採決の結果、賛成 22 票、反対 0 票で可決された。

1) 改廃要否の欄の記載については、検討を行う場を設けて再検討することとし、その結果を次回の分科会にて報告する。

2) 「安全機能を有する電気・機械装置の設計指針」を「安全機能を有する電気・機械装置の重要度分類指針」と訂正する。

3) 「計算機化された原子力発電所中央制御室のヒューマンマシンインターフェースに関する指針(仮称)」の概要が分りにくいので修文する。

4) 今までの規格の 5 年毎の全体的な見直しをした検討記録は残っているのかという質問があり、事務局より、従来の体制では、5 年毎に規格を見直すことは定められてなく、現在の規約制定にともない明記されるようになったとの回答がなされた。

5) 分科会は公開での審議であり、しっかりと議論する必要がある。また、資料を事前配布する等して効率的に行って行きたいとの意見が出された。

また、規格制定作業を行っている「計算機化された原子力発電所中央制御室のヒューマンマシンインターフェースに関する指針(仮称)」の検討スケジュールについて説明があった。

(6) その他

1) 事務局より、安全設計分科会の委員の変更、追加について紹介があり、3 月 26 日開催の第 5 回原子力規格委員会承認された後、正式に委員となることが説明された。

2) 第 2 回安全設計分科会の開催日については、9 月を目途とし「計算機化された原子力発電所中央制御室のヒューマンマシンインターフェースに関する指針(仮称)」の作業進捗状況により、別途調整することとした。

以上